

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 4. 10

下水道機構の『新技術情報』 第279号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

地震の復旧工事でのため立ち入り禁止されている熊本城の行幸坂が花見の時期に合わせて期間限定で特別公開されたとのことで、テレビで美しい桜と熊本城の映像を拝見しました。今日からはまた立ち入り禁止となるようです。少しでも早く熊本城が復旧し、来年はもっと美しい花を咲かせますようにお祈りします。

今号から、国交省の下水道ホットインフォメーションのご担当者が堂菌さんへ変わりました。堂菌さん、どうぞよろしく願いいたします(^\_^)

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第279号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・平成29年度建設技術審査証明事業の受付を4/3(月)より開始しました
- ・「嫌気性消化法の導入マニュアル(案)」の意見公募に関する回答について

■機構の動き

- ・今週は、4/13(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・三年間を振り返って(研究第二部 亀田 瞬さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回のゆいまーるは

(1) 日本大学教授の森田先生(元下水道機構研究第一部長)から唐辛子情報

(2) 研究第一部の中野さんからマンホールカードコレクション

をお届けします♪

■国からの情報

- ・4/7付下水道ホットインフォメーション

。 。 ○ 。

- 平成 29 年度建設技術審査証明事業の受付を 4/3（月）より開始しました  
受付期間は 4/3（月）～5/2（火）です。

詳細および実施要領はこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/examination/general-4>

- 「嫌気性消化法の導入マニュアル（案）」の意見公募に関する回答について  
意見公募で頂いたコメントの主なものについて、機構からの回答をホームページへ掲載しました。

⇒

<http://www.jiwet.or.jp/%e3%80%8c%e5%ab%8c%e6%b0%97%e6%80%a7%e6%b6%88%e5%8c%96%e6%b3%95%e3%81%ae%e5%b0%8e%e5%85%a5%e3%83%9e%e3%83%8b%e3%83%a5%e3%82%a2%e3%83%ab%e3%80%8d%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%99%e3%82%8b%e3%83%91%e3%83%96>

。 。 ○ 。

機構の動き （機構の行事予定です）

。 。 ○ 。

- 行 事：第 358 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 4 月 13 日（木） 16:00～17:00

※平成 29 年 4 月より開催時間が変更になりますのでお間違えないように！

ゲスト：東京都下水道局 計画調整部 技術開発課長 大塚文昭氏

テーマ：『技術開発推進計画 2016』～未来の暮らしと環境を育む下水道技術～

※4 月の技術サロンは定員に達したため募集を締め切っております。たくさんの参加申込ありがとうございました。

- 行 事：第 359 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 5 月 11 日（木） 16:00～17:00

ゲスト：横浜市環境創造局 下水道計画調整部

下水道事業マネジメント課長 遠藤賢也 氏

テーマ：『横浜下水道の今後の取組について』

※お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon2-form>

。 。 ○ 。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。 。 ○ 。

- 三年間を振り返って（研究第二部 亀田 瞬さんからの投稿です）

私事ではございますが、4月30日をもって3年間の出向期間を終え、出向元の管清工業株式会社に戻ることになりました。

右も左もわからない若造に丁寧にご指導して下さった先輩方、無茶ぶりにも対応して下さった協力会社様方々には本当に感謝しております。下水道機構では、親元では経験できない多岐にわたる業務や研究を経験させて頂いた他にも、スキー部、駒G会（駒込ゴルフ会）、自転車部、俳句の会での活動、皇居ランや健康駅伝等のマラソン活動等々、仕事以外の面でも色々な経験をさせて頂きました。

下水道機構の業務経験はもちろんのこと、プライベートの面も含めて、下水道機構の卒業後も培った経験を生かして頑張っていきます。機構での三年間を支えてくださった皆様方、本当にありがとうございました。

---

。○○。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

。○○。

●今回のゆいまーるは

- (1) 日本大学教授の森田先生（元下水道機構研究第一部長）から唐辛子情報
  - (2) 研究第一の中野さんからマンホールカードコレクション
- をお届けします♪

→ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-4-10>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.4.7付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

4月から下水道ホットインフォメーションを担当させていただきます堂蘭です。

よろしく願いいたします。3月まで岡山市役所で下水道の経営や計画等の業務に携わらせていただきました。貴重な経験をさせていただき、また市役所の皆様にも大変よくしていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

岡山といえば、桃や桃太郎、後楽園などを思い浮かべるかもしれませんが、「晴れの国おかやま」としても有名です。岡山県によると、気象庁が公表する全国気候表平年値（1981～2010年の30年）で、県庁所在地の中で年間降水量1mm未満の日数（晴れの日）が最も多いのが岡山とのこと。

<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-99639.html>

気候は温暖で自然災害も比較的少なく、大変住みやすいまちでした。

私自身、これまで岡山市、金沢市、埼玉県に出向し、また、国の出先で仙台市、佐賀市で勤務させていただきました。これまでの自治体・地方勤務の経験をいかし、また多くの皆様のご意見を伺いながら業務にあたりたいと思います。皆様から幅広い情報をいただけますよう、よろしく願いいたします。上司に話が長いと言われそうなので今日はこの辺で。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○マンホールトイレの普及啓発コンテンツを作成しました！（下水道企画課）

○平成29年度GKP広報大賞のエントリー事例を募集します（下水道広報プラットフォーム（GKP））

○京都市の下水道PRプロジェクトが新聞に掲載されました！（京都市）

○下水道施設の維持管理業務を「クリアウォーターOSAKA株式会社」に委託します（大阪市）

○消化ガスと汚泥の全量有効利用を達成しました（大阪市）

○国土交通省下水道部の人事異動（下水道部）

=====

○マンホールトイレの普及啓発コンテンツを作成しました！（下水道企画課）

国土交通省では、マンホールトイレの普及啓発に向けて、リーフレット、動画、漫画を作成し、以下のホームページに公開しました。例えば、地域の防災訓練や学校での防災教育、行政内部（防災部局、環境部局、教育委員会）でのマンホールトイレの認識共有を図る際等に積極的に活用いただければと存じます。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000411.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000411.html)

また、東京都墨田区の錦糸公園では、お花見シーズンにマンホールトイレを花見客にしてもらっており、この取組がNHKニュースに取り上げられました。

<http://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20170404/5265941.html>

○平成29年度GKP広報大賞のエントリー事例を募集します（下水道広報プラットフォーム（GKP））

下水道広報プラットフォーム（GKP）は、今年で5回目となる「GKP広報大賞」を開催します。本賞は、下水道界で展開されている広報活動のうち、他業界への効果的な訴求など下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる広報活動事例を発掘、表彰し、下水道界に広く普及させることを目的とするものです。4月3日（月）から5月19日（金）までエントリーを受け付けます。是非、皆さまが所属する団体の事例をお寄せ下さい。

【GKP広報大賞の概要はGKPの専用サイトをご覧ください】

<http://www.gk-p.jp/taishou29.html>

○京都市の下水道PRプロジェクトが新聞に掲載されました！（京都市）

京都市の下水道事業開始80周年（2010年）をきっかけに発足した「下水道PRプロジェクトチーム」は、独自予算を持たないチームながらも、柔軟な感性で、「縁の下」の力持ちの役割を担う下水道事業をPRしています。これまでに6枚のPRポスターを作成しており、巨大な雨水幹線の工事現場や御所車をデザインしたマンホール、下水道の幹線をサクラの根っこに見立てた図柄、水質浄化に活躍する微生物の顕微鏡写真など、ユーモアあふれるデザインで、京都市民におなじみとなっています。（国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」、GKP 広報大賞グランプリ）を受賞）

新聞記事：

<https://mainichi.jp/articles/20170403/ddl/k26/040/319000c>

PRポスター：

<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000215471.html>

○下水道施設の維持管理業務を「クリアウォーターOSAKA 株式会社」に委託します（大阪市）

大阪市では、下水道事業については経営形態見直しの一環として、現在、所管する下水道施設（下水処理場、下水道管など）の維持管理業務を平成29年4月1日から「クリアウォーターOSAKA 株式会社」（平成28年7月1日設立）に委託します。

また、大阪市内で発注していた取付管の築造や補修の工事等については、クリアウォーターOSAKA 株式会社が発注を実施します。この「クリアウォーターOSAKA 株式会社」は、大阪市内における下水道事業の維持管理業務を受託することを通じて、大阪市民に対し、豊かで快適な水環境を提供するとともに、まちの安全と安心をまもり、都市の暮らしを支えます。

また、下水道施設の豊富な知識やノウハウ等の強みを活かし、国内外の下水道事業運営にも積極的に参画していきます。

今後も大阪市内は、市民の安全・安心を守る下水道管理者としての責務を果たすとともに、より効率的、かつ将来にわたって持続可能な下水道事業運営を行ってまいります。

大阪市 報道発表資料 HP

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kensetsu/0000393480.html>

クリアウォーターOSAKA 株式会社の HP

<http://www.clearwater-osaka.co.jp/>

○消化ガスと汚泥の全量有効利用を達成しました（大阪市）

大阪市内は、平成29年4月より放出下水処理場において、消化ガス発電事業の維持管理・運営を開始し、消化ガスのほぼ全量有効利用を達成しました。

大阪市内では、大野、海老江、住之江、放出の4か所の下水処理場を対象に再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）を活用した消化ガス発電事業を平成27年5月に株式会社 OGCTS、月島機械株式会社、月島テクノメンテサービス株式会社と契約し、

施設整備の完了した下水処理場から順次維持管理・運営を開始していましたが、放出下水処理場の運用開始により、全ての消化ガスが発生する下水処理場において発電が開始されることとなります。

汚泥については平成26年4月より汚泥固形燃料化事業の運用が開始したことで、既に100%有効利用していますが、消化ガスについても既に発電を開始している2か所の下水処理場に続き、コジェネレーションを採用し、消化ガスの有効利用をほぼ100%達成します。

FITを活用した消化ガス発電事業の効果として発電量約2,580万キロワットアワー／年（一般家庭約7,100世帯分の年間電力消費量に相当）と温室効果ガス削減量約13,000トン-CO2／年（大阪城公園約16個分の森林が1年間に吸収する量に相当）が期待できます。

併せて、大阪市にも消化ガスの売却益及び土地占用料として、年間約3.3億円の財政的メリットがあるものとなっています。

消化ガス発電事業：<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000283106.html>

汚泥固形燃料化事業：<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000325106.html>

#### ○国土交通省下水道部の人事異動（下水道部）

##### ●転入者一覧（左から順に、現部署 氏名 前部署）

流域管理官 岡本 誠一郎 国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究官

大臣官房付 津森 ジュン 浜松市 上下水道部 参与兼次長

##### ◆下水道企画課

下水道国際推進官 田本 典秀 下水道企画課 課長補佐  
課長補佐 小林 德行 九州地方整備局 総務部 人事課長  
課長補佐 末久 正樹 環境省 水・大気環境局 水環境課 課長補佐  
環境技術係長 河本 武 横浜市環境創造局 下水道施設部 下水道施設整備課  
国際展開推進係長 伊藤 智則 北九州市上下水道局 海外・広域事業部 海外事業課主任

資源利用係長 土屋 美樹 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 企画課循環型社会推進室

研修員 八幡 一憲 浜松市

##### ◆下水道事業課

企画専門官 堂蘭 洋昭 岡山市 下水道河川局 統括審議監  
課長補佐 村岡 正季 日本下水道事業団 東日本設計センター 機械設計課  
課長代理

計画調整係長 見正 大和 下水道事業課 事業係長（部内異動）

事業係長 金子 陽輔 土木研究所水環境研究グループ（水質）研究員

構築係長 野杵 貴博 名古屋市 上下水道局計画部 下水道計画課主査

予算係長 南 雅由輝 大臣官房会計課 予算第三係

環境調整係長 土師 健吾 総務省 情報通信国際戦略局技術戦略課 技術係長

予算係員	木村 俊希	新規採用
研修員	大貫 勇太	東京都
研修員	榊原 悠司	吹田市

◆流域管理官

課長補佐	宮本 豊尚	国土技術政策総合研究所下水道研究部	下水道研究室研究官
調整係長	高瀬 直樹	経験者採用	
水害対策係長 (部内異動)	二川 卓矢	下水道事業課事業マネジメント推進室	環境調整係長

●転出者一覧（左から順に、前部署 氏名 異動先）

流域管理官	井上 茂治	国土技術政策総合研究所	下水道研究部長
-------	-------	-------------	---------

◆下水道事業課

企画専門官	岩崎 宏和	国土技術政策総合研究所下水道研究部	下水道研究室長
課長補佐	水田 健太郎	日本下水道事業団 近畿・中国総合事務所	プロジェクトマネジメント室 室長代理
計画調整係長	武田 正太郎	河川計画課	水資源地下水係長
再構築係長	清崎 里恵	北九州市 上下水道局	下水道部
予算係長	小出 洋平	大臣官房総務課	調整係長
予算係員	山下 大地	都市局 総務課	企画調整係
研修員	菊川 正太郎	東京都	
研修員	難波 建二郎	岡山市	

◆下水道企画課

課長補佐	森岡 浩司	都市局 都市計画課	都市計画調査室 課長補佐
課長補佐	山縣 弘樹	浜松市 上下水道部	次長
課長補佐	田本 典秀	下水道企画課	下水道国際推進官
環境技術係長	中島 智彦	横浜市 環境創造局	下水道計画調整部 下水道事業マネジメント課 担当係長
資源利用係長	和田 直樹	環境省水・大気環境局	土壌環境課市街地汚染 対策係長（併）放射性物質汚染対策担当参事官室
研修員	三輪 一聡	浜松市	
研修員	笹口 稜生	福井市	

◆流域管理官

課長補佐	齋野 秀幸	岡山市 下水道河川局	統括審議監
調整係長	川島 弘靖	国土技術政策総合研究所	下水道研究部 下水道研究室研究官

---

---

【参考情報】

◆汚水集合処理 大幅見直し 10市町村、52事業廃止 <3/30 徳島新聞>

[http://www.topics.or.jp/localNews/news/2017/03/2017\\_14908509549773.html](http://www.topics.or.jp/localNews/news/2017/03/2017_14908509549773.html)

◆20年度に累積赤字解消 白浜町が下水道経営戦略 <3/31 紀伊民報>

<http://www.agara.co.jp/news/daily/?i=331380&p=more>

◆コンセッション方式で下水道事業 浜松市が国内初の取り組みへ <4/2 THE PAGE>

<https://thepage.jp/detail/20170331-00000004-wordleaf>

◆集落排水を公共下水道に統廃合 みなべ町 <4/5 紀伊民報>

<http://www.agara.co.jp/news/daily/?i=331596&p=more>

◆「マンホールカード」が熱い ご当地限定、高値取引も <4/6 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/articles/ASK462VWXK46UTIL004.html>